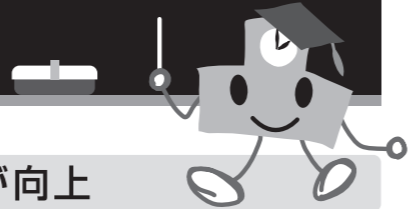


# ビオトープで身近な自然を学ぶ。今後は広く自然界の循環へと意識を向ける取組に。

生き物の観察や自然に触れ環境を学ぶためビオトープを活用。  
興味や関心をもたせ環境意識が高まる取組に。  
これからは自分たちも環境の一部として  
自然界の循環という視点でも学んでいく。



## 内容 身近な自然に触れることで環境への意識が向上

本校では、平成16年9月にビオトープが完成したが、平成17年度頃から水漏れが始まり、稼動していなかった。平成22年夏に札幌市に改修してもらうことができたため、現在では、校内で飼っていた金魚を放している。アメンボの姿が見られたり、トンボが卵を産みに来たりするなど、自然を感じることでできる環境になっている。

1、2年生が生活科の時間に生き物の観察を行い、3年生は総合的な学習の時間に「地域探検」の一環で観察し、身近な自然に触れ、環境を考えるきっかけが生まれている。休み時間にビオトープの周りに集まり、ゲンゴロウなどの生き物を自主的に観察している姿が

見られるなど、児童の自然への興味・関心が強くなり、環境に対する意識の高まりを感じている。



自然を感じられるビオトープ

## 今後 リサイクルの循環から自然界の循環へ

これからは、ビオトープという自分たちにとって身近な自然を守り、育むことで、環境への意識を高め、地域や全国、そして世界にまで目を向けながら、自分たちにできることを考え行動できるよう、働きかけていきたい。

また、5年生が地球温暖化に関わる出前授業を受けた。分別したプラスチックごみがリサイクル工場へ

運ばれ、高温で溶かされ再生原料になり、またプラスチック製品が造られるという循環を学んだ。このような循環は、たとえば食物連鎖など自然界にも見られ、人間も環境の一部であると知ることにつながる。このような学習をとおして、自分たちにもできることがあるはずだという思いが生まれ、「使わない電気は消そう!」「水は大切に使おう!」「ごみの分別はきちんとしよう!」という意識が芽生えてきている。

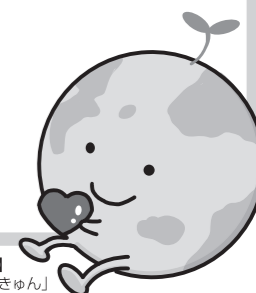
広げよう  
つなげよう  
環境学習の輪



実施校から  
メッセージ

本校は長年、異学年交流を続けています。「たて割りペア活動」と題し、「1・6年生」「2・5年生」「3・4年生」がペアとなり、運動会の種目に参加したり、一緒に給食を食べたり、休み時間に遊ぶなど、1年をとおして多様な取組を行っています。6年生が1年生とふれあい、関わり合う姿はとても自然で、先輩から学んだ相手を思いやる心や行動が育まれていると感じられ、嬉しく思っています。

MEMO



未来の札幌を見つめる【環境】  
イメージキャラクター「ちっせゅん」

ごみ分別・  
資源物回収

リングフル  
ペットボトル  
キャップ回収

フード  
リサイクル・  
農園

身近な  
リサイクル

清掃活動

植樹・花壇

ビオトープ

ソーラー  
パネル

委員会  
児童会

地域と協働

その他